

土砂災害リスクの低減による雇用創出

事業間連携砂防等事業（火山）
～牛尾川～

～牛尾川において砂防堰堤を整備することにより企業立地に貢献～

伊佐市の牛尾川は土石流が発生するおそれがある土石流危険渓流であり、事業間連携砂防等事業（火山）の実施により土砂災害から牛尾集落や大口電子株などの保全対象を守ることを目的としている。

大口電子株は地域の雇用創出に重要な役割を果たしている企業であり、砂防堰堤の整備などにより、これらの地域や企業活動の安全性の向上を図ることを通じ、地域経済の好循環に寄与している。



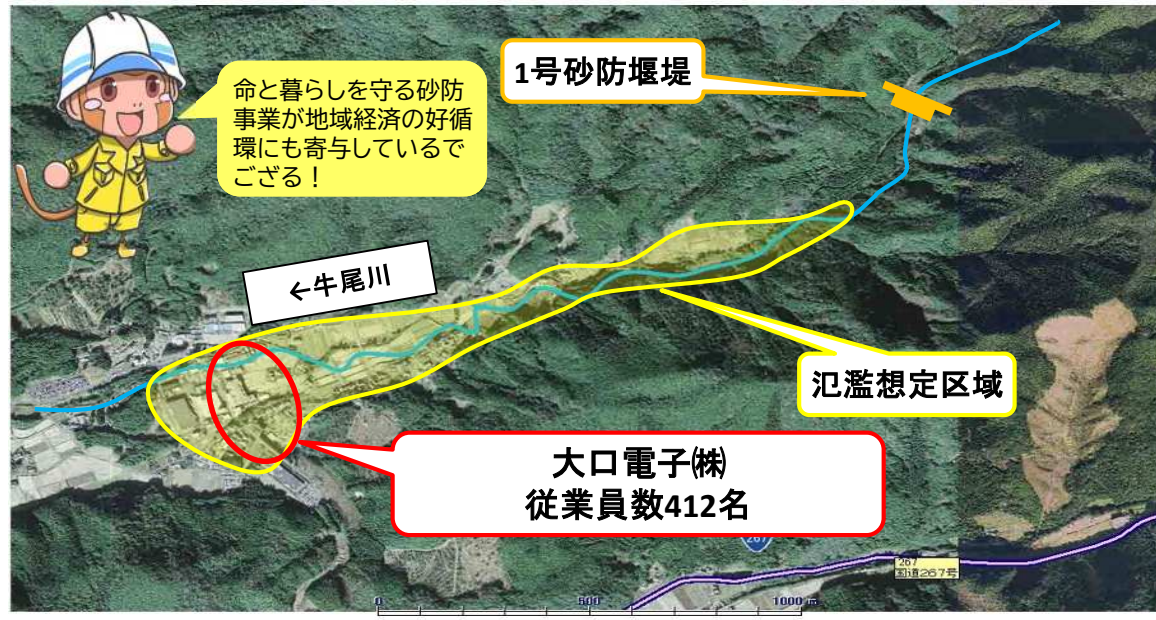
牛尾川の事業概要

- ・ 全体計画概要 砂防堰堤工 4基
- ・ 整備状況 1号砂防堰堤工（S58～S59整備）
2号砂防堰堤工（H10～H13整備）
3号砂防堰堤工（H23～H27整備）
4号砂防堰堤工（H28～整備中）

大口電子株の概要

- ・ 設立 昭和56年10月設立
- ・ 業種 貴金属リサイクル、機能性インク（熱線遮蔽・赤外線吸収用）、結晶材料（通信用フィルターに利用）
- ・ 従業員数 412名（伊佐市人口22,122人の1.9%）
- ・ その他 従前より牛尾川を工業用水として利用。平成28年1月からインク材料部第二工場操業開始。この第二工場の増設により雇用者20名程度が増加。

【全体計画】



大口電子株と立地協定締結



市と大口電子株式会社は2月23日、県の担当者の立ち会いのもと、工場増設の立地協定を結び、柳沼代表取締役と隈元市長が調印しました。

大口電子株式会社で製造する日射遮蔽インクは、自動車や建物の窓用フィルムのコーティング材料として利用され、その需要が旺盛であり今後も引き続き受注増加が期待できることから、今回、第二工場増設に至りました。第二工場は来年1月に操業予定です。

これにより、伊佐市の産業振興への貢献、雇用創出などの効果が期待されます。

（「広報いさ」H27.4.1より抜粋）